



ひとつひとつを
おさる情報誌

みやぎNPOプラザ情報

2013 MAY

Vol.73

One to One

みやぎNPO情報公開システム 「みやぎNPOナビ」オープン

<http://www.miyagi-nponavi.jp/>

宮城県内の市民活動団体(NPO)の500を超えるNPOの情報が登録されている情報検索サイト「みやぎNPO情報公開システム-みやぎNPOナビ-」が、3月29日、公開されました。県内のNPO情報を、手軽に、広く深く検索できるサイトです。トップページは、地域や分野、団体名から条件にあてはまる団体を検索する仕組みとなっていて、その先の検索された団体のページには、その団体の活動分野や目的などの基本情報に加え、団体のホームページやブログ等のURL情報が登録され、他のデータベースサイトへのリンクがはられています。まさに団体のページが、その団体の発信するさまざまな情報の玄関口になっていることも、みやぎNPOナビの大きな特徴です。

市民のためのNPO情報サイト

NPOの信頼性を確保するため、NPOの情報が一元的にみられるサイトが求められていました。そこで特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるるの提案により、仙台市、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターの三者で「みやぎNPO情報公開システム運用協議会」立ち上げ、県内のNPO情報を一元化するシステムの開発に着手しました。

「みやぎNPOナビ」の開発にあたっては、平成24年10月から翌3月までの半年に7回の開発会議を開き、システム設計を行い、この間、11月から団体の情報収集を始め、今年1月～3月の3か月間でのべ1400以上の団体にメールや郵便で情報提供を依頼し、500を超える団体から回答がありました。

このサイトに登録されている団体は、宮城県内で営利を目的とせず社会的・公益的活動を行う民間団体であり、(1)特定非営利活動法人、(2)公益社団法人、(3)市民参加による公益的な活動を行いNPO法人と同程度の情報公開を行っている一般社団法人、(4)宮城県民間非営利活動促進基本計画で定める「営利を目的とせず、自発的に行う社会的・公益的な活動を行う」任意団体です。

自治体の枠を超える「みやぎNPOナビ」

システムの環境が整った3月には、NPO支援施設を持つ県内



の自治体にこのサイト活用への参加を呼びかけ、気仙沼市、石巻市、登米市、栗原市、大崎市、名取市の6市が協議会に加わり、共有しているデータベースを使って、それぞれの自治体独自の情報発信ができる自治体別のサイトも作りました。

今後は、仙台市を含めた7自治体とその自治体のNPO支援施設を運営するNPOが協力してシステムの管理運営を行っていくことになりました。

NPOナビのデータベースを共有することで、情報を求める市民にとっては、自治体の枠を超えて必要な団体の情報を探ることができ、地域の枠を超えて活動するNPOにとっては、自治体の枠を超えて情報が発信でき、一度の情報更新で複数自治体の情報を更新することができるようになりました。

これから、さらに多くの自治体に参加を呼び掛け、情報共有の輪を広げていくとともに、市民から信頼され、社会から頼りにされるNPOにとって大切な情報公開の場となっていくことが期待されます。

▲「みやぎNPOナビ」トップページ(上)と団体情報画面(左)

みやぎNPO夢ファンド

平成25年度

ステップアップ支援プログラム 助成団体決定!



桜の花が芽吹き始めた4月13日(土)、みやぎNPOプラザにて、みやぎNPO夢ファンド(以下、夢ファンド)の公開コンペ(審査会)が開催されました。平成16年度から始まったこの事業も、今年度が最終年度となりました。昨年までの9年間で106団体に助成金を交付し、NPO活動を育んできた夢ファンド。今回、実施された「ステップアップ支援プログラム」の2次審査に臨んだ6つの団体のプレゼンテーションは、その集大成にふさわしく、いずれも熱のこもったものとなりました。厳正な審査の上、助成が決定した団体を紹介します。

石巻の未来

1つめの団体は、「一般社団法人ISHINOMAKI2.0」です。ISHINOMAKI2.0は震災を経て、石巻という街を、単に以前の状態に戻すのではなく、元々地域の課題でもあった閉鎖的な風土に風穴を開けるべく、平成23年6月、地元の若者を中心に設立された団体です。石巻内外を問わず、様々な職能をもつ人々を巻き込みながら情報誌を発行したり、空き家をバーに改装し運営したり、多種多様な事業を展開しています。

今年度、ISHINOMAKI2.0は『学び』をテーマに掲げ、改装したガレージに若者を集め、ジャーナリストやアーティストなどの専門家から話を聞く場を作ること、若手の人材育成を図る計画をしています。この事業を契機とし、石巻に学びのプラットフォームを作り、来訪者がゆくゆく定住者となり、石巻を活性化させることを目標にしています。

外国籍でも地域の担い手に

次に紹介する団体は、宮城県内の外国人の支援をしている「NPO法人笑顔のお手伝い」です。笑顔のお手伝いは、市民の認識不足から馴染みが無い問題として後回しにされがちな県内在住の外国人の方々にに対して支援活動を行っています。コミュニケーションに難があり、社会参画が疎遠になりがちな外国人の方のために、日本語教室やパソコン教室を開催しています。現在、資金難により、パソコン教室では2人で1台のパソコンを共有しているのが現状です。今後、支援活動を向上していくために、今回のコンペに臨みました。外国籍であっても、いずれは地域の担い手になって欲しいというのが団体の願いです。

障がい乗り越えて働く喜びを取り戻す

最後に紹介する団体は「NPO法人みやぎ身体障害者サポートクラブ」です。みやぎ身体障害者サポートクラブは、7年前から高次脳機能障がい者の支援活動を行っています。

利用者の障がいの程度は重く、自立を視野に入れた就労支

援よりもまずは生活支援から考えなくてはなりません。そこで、今年度、農園の運営を計画しています。まずは安定した生活リズムを身につけ、その後、皆で野菜や花々を栽培します。そして育った作物を販売して対価を得るという一連の活動の中で、もう一度、働く喜び、意欲を利用者に取り戻してもらう目的があります。将来的には、この農園事業を安定した収入を得て運営できる組織にしていこうと目標としています。

審査会を終えて…

今回の第2次審査は、これまでの具体的な実績や将来のビジョンが明確に示されており、「社会的に後まわしにされたり、埋没しがちな問題に光をあてたプログラムが多かった」と審査員からも好評でした。NPOにとって助成金は、貴重な資源ですが、多くの人々に賛同を得るためには、日頃の活動実績と現実的で長期的な事業計画をたて実践していくことが大切だと改めて感じる貴重な機会となりました。

5月25日(土)には、「スタートアッププログラム支援プログラム」と「組織開発支援プログラム」の審査が行われます。

みやぎNPO夢ファンド

運用委員会委員長 高浦康有さんからの総評

今回最終選考に残った6団体は震災前・震災後と設立の経緯は異なりますが、いずれも十分な活動実績を有している実力のある団体でした。審査は甲乙つけ難く、例年以上に大接戦となりましたが、事業内容の緊急性や広域性、革新性(ステップアップの事業効果を有し得るか)などの諸点において僅差で3団体が選ばれました。惜しくも選外となった各団体におかれては、これにひるむことなく事業計画をより洗練させ、飛躍のチャンスをつかんでいただきたいと思います。採択された各団体においては、1年限りの支援となりますが、他のNPOにとってもモデルケースとなり得よう当該事業の発展に努めていただきたいと思います。最後に、当ファンドは、今年度をもって10年続いたその使命を終えますが、宮城県の市民活動・NPO活動を長く下支えしてきた功績について今後、検証されることを期待します。

みやぎNPO夢ファンドとは?

宮城県の拠出金と市民・企業等からの寄附金を原資とするコミュニティファンド(地域基金)のことで、県内NPOの自主的、自律的な活動の促進を目的としています。宮城県と(特活)せんだい・みやぎNPOセンターとの協働により設置・運営しています。

「市民にとって分かりやすい NPO法人の計算書類のつくり方」パンフレット完成!

平成10年のNPO法成立以来の大改正となったNPO法が、平成24年4月から施行されました。そのなかの重要事項のひとつに、NPO法人が作成する会計書類のうち「収支計算書」が「活動計算書」に変わったことが挙げられます。この活動計算書のつくり方を解説したパンフレット「市民にとって分かりやすい NPO法人の計算書類のつくり方」が完成しました。これは、正確で分かりやすい計算書類作成の普及に取り組むNPO法人杜の伝言板ゆるるが、新しい公共支援事業の一環として制作したものです。

計算書類は、NPO法人の事業年度終了の日から3ヶ月以内に所轄庁に提出すべき書類のひとつで、活動計算書と貸借対照表と注記、そしてそれらを補完する財産目録を指します。これらの作成のポイントは、「活動計算書」の経常費用を「事業費」と「管理費」に分け、さらにそれぞれを「人件費」と「その他の経費」に分けること。また貸借対照表や活動計算書で伝えきれないことを補う「計算書類の注記」が非常に重要で、その

NPO法人の重要な会計方針や事業ごとの経費の内訳を記載するほか、ボランティアや施設などを無償や無償に近い価格で提供を受けた場合、条件が整えば計算書類に取り込むことができるため、その場合は計算方法などを記載します。

パンフレットでは、会計初心者にも分かりやすいように、作成のポイントを活動計算書や貸借対照表、注記のひながたとともにやさしく説明しています。

このパンフレットは、みやぎNPOプラザや、宮城県内各地のNPO支援センターで配布します。パンフレットを活用し、正確で分かりやすい計算書類を作成し、NPOの信頼性を高めていきましょう。

「市民にとって分かりやすい」
NPO法人の計算書類のつくり方



▲パンフレットの中間の様子

NPO法人認証等の事務処理権限が大崎市へ移譲

平成23年の栗原市に続き、本年4月よりNPO法人の認証などの事務処理権限が、宮城県から大崎市に移譲されました。このため、大崎市のみに事務所を置くNPO法人に係る申請や届出の窓口は大崎市になります。

なお、大崎市に主たる事務所を置いている場合で、大崎市

以外の市町村に従たる事務所を置いている場合は、これまでどおり宮城県が窓口になります。

引き続き、栗原市のみに事務所を置くNPO法人の窓口は栗原市、仙台市のみに事務所を置くNPO法人の窓口は仙台市になります。

【担当窓口】

- ◎大崎市 市民協働推進部まちづくり推進課 地域自治・NPO担当
大崎市古川七日町1番1号
TEL:0229-23-5069 FAX:0229-23-2427
- ◎栗原市 企画部市民協働課
栗原市築館薬師1丁目7番1号
TEL:0228-22-1164 FAX:0228-22-0313

◎仙台市 市民局市民協働推進課NPO認証係

仙台市青葉区二日町1-23 二日町第四飯庁舎2階
※書類郵送先 仙台市青葉区国分町3丁目7-1
TEL:022-214-8002 FAX:022-211-5986

◎宮城県 環境生活部共同参画社会推進課 NPO・協働社会推進班

仙台市青葉区本町3丁目8番1号
TEL:022-211-2576 FAX:022-211-2392

●申込:講座・専門相談は要予約。所属団体・参加者氏名・連絡先・電話・FAX番号・質問事項をご記入のうえ、FAX・メール・電話にてお申込み下さい
●主催:宮城県(みやぎNPOプラザ) ●企画・実施:特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

NPOマネジメント講座

行政職員のためのNPO理解講座

よりよい地域づくりを進めるためには、行政とNPOがお互いを理解することが欠かせません。NPOの基礎やNPOと行政の有意義な協働のポイントを学びます。

- 日 時:5月21日(火) 14:00~16:00
- 講 師:大久保朝江(NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
- 対 象:宮城県や県内市町村のNPO・市民活動団体担当部署職員、およびNPOとの協働について理解を深めたい行政職員など
- 定 員:20名(申込先着順)
- 参加費:無料

NPOのための会計・税務講座

不安を解消!NPO法人のための会計初級講座

「NPOの会計は初めてでよく分からない」そんなお悩みを解消! NPOの会計の基礎から、一般企業とは異なる特徴、帳簿の付け方、具体的な日々の会計処理まで分かりやすく学びます。

- 日 時:6月7日(金) 13:30~16:30
- 講 師:平野由紀子さん(税理士)
- 対 象:NPOの会計担当者や理事、監事、これから会計を担当される方、再確認したい方など
- 定 員:20名(申込先着順)
- 参加費:1,000円(税込)
- 持ち物:電卓、筆記用具

NPOのための専門相談

■会計・税務相談 →5/24(金)、6/27(木)

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- ◎相談対応:【5/24】平野由紀子さん(税理士)
- 【6/27】佐々木寛亮さん(税理士)

■経営相談→6/20(木)

事業計画を見直したい、何から手をつけていいかわからない…そんなお悩みに、地域の新しい価値創出の取り組みのプロデュースに定評のあるマーケティング・コンサルタントがアドバイスします。

- ◎相談対応:波多野卓司さん(経営コンサルティング波多野事務所代表)

■法人設立・団体運営相談 → 毎週水曜日

NPOの設立や法人申請書類の書き方、組織運営や資金の確保・会計など、NPOが活動の中でぶつかる様々な問題について、乗り越えるためのアドバイスをいたします。

- ◎相談対応:大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)

- 時 間:13:00~17:00(相談時間:1団体1時間程度(定員3団体))
- 申込方法:要予約。所属団体・参加者氏名・電話・FAX番号・質問事項をご記入のうえ、FAX・メール・電話にて下記連絡先までお申し込み下さい。
- 申込締切:開催日の6日前

■新規のNPO法人認証団体 (2013.2.11~2013.4.10)

団体名	所在地	活動内容	認証日
奏海の杜	登米市	障がい児・者などへの支援活動をおとした、健全で安全な地域社会の実現と地域振興への寄与	2/15
地星社	岩沼市	市民活動に関する相談、コンサルティング及び情報収集・情報提供	2/20
オペレーション・プレッシング・ジャパン	黒川郡富谷町	漁業の復興支援に関する事業及び家庭生活支援のためのカウンセリング等に係る事業	2/28
東松島市芸術文化振興会	東松島市	多様な芸術文化活動を展開し、芸術文化の振興を図る活動	2/28
とめ市民活動フォーラム	登米市	多様な分野の市民活動やコミュニティ活動の支援	3/8
総合武道拳聖	刈田郡蔵王町	空手道等のスポーツ教室を通じたスポーツ振興、海外からの短期ホームステイ	3/11
仙台進路指導塾	塩竈市	若年者や求職者への就労に関したサポート、スポーツ等を通じた青少年の健全育成	3/12
海への森をつくろう会	気仙沼市	自然環境の回復及び震災の記憶を風化させず、未来へ繋いでいくための植樹活動	3/13
宮城グリーンフィールド	仙台市亶理郡山元町	東日本大震災で被害を受けた地域の農業振興に関する事業	3/19
アスヘノキボウ	牡鹿郡女川町	地域の活性・発展・変革を実現する為の各種計画を作成し、実行する事業	3/21

宮城県のNPO法人数 709団体 (平成25年4月10日現在)

宮城県等所轄321団体 仙台市所轄388団体
※解散、所轄庁変更、認証取消、認証撤回した団体を除く

団 体 名		所在地	活 動 内 容	認証日
宮城県等	みなとまちセラミカ工房	牡鹿郡 女川町	ものづくりの場を提供し、創造活動を支援する活動	3/25
	PREMO(ぶれも)	塩竈市	高齢者及び障害者等の権利擁護を目的として、成年後見制度の活動支援事業及び相談事業	3/27
仙台市	ドラムカフェ	青葉区	参加型ドラミングによるスクール公演事業、参加型ドラミングによる地域、施設公演事業、ドラミングに関するイベントの企画開催事業等	2/25
	コ・クリエイションセンター	宮城野区	モニュメント建造物の共創事業、子供・親の教育支援事業、被災者・支援者の交流事業	3/4
	シニアサロン井戸端会議	青葉区	地域コミュニティ形成に係る事業、事業創出及び雇用創出に係る事業、健康増進に係る事業等	3/5
	日本災害対応住宅研究会	青葉区	調査研究事業、レポートや出版物等の発行事業、セミナーやワークショップ等イベントの企画・運営事業等	3/6
市	シュエツト	青葉区	社会教育に関する講習会、講演会その他集会を開催する事業、まちづくりに関する講習会、講演会その他集会を開催する事業等	3/6
	孫の手	青葉区	高齢者、生活弱者に対しての生活支援事業、コミュニティづくり支援事業、地球環境・地域環境の保全事業等	4/5
	健幸美楽	青葉区	健康運動支援事業、介護予防及び運動啓発事業、サポーター養成事業等	4/9

One to One

2013 MAY
vol.73

発行日:2013年5月1日
発行:宮城県民間非営利活動プラザ(みやぎNPOプラザ)
発行部数:3,000部
編集:特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
編集スタッフ:庄司真希 清野利之

【お問い合わせ】
〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榎ヶ岡5
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp
URL:http://www.miyagi-npo.gr.jp

「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひととひとが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるよう願いを込めたニューズレターです。